

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 900

政策体系	22	事業分類	施設管理費	所管部局	上下水道部 下水道課
会計	下水道特会	科目	1. 総務費 - 1. 総務管 - 2. 公共下 現年		
事業名	公共施設管理費				
細事業名	公共施設管理費				
				評価表作成者	上下水道部 下水道課 早川 忠

## 1. 事業の概要

下水道施設の適正な維持管理により、現有施設を良好な状態に保ち、長期間にわたる有効活用を図る。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

下水道施設の適正な維持管理により、現有施設を良好な状態に保ち、長期間にわたる有効活用を図る。

### ② 事業を実施する必要性

市民の衛生的で快適な暮らしを確保し、また環境を保全するため、下水道施設の維持管理を行う。

## 3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	263,962	311,424	346,125	348,877	371,917	383,047	395,035
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	263,962	268,251	321,231	296,216	284,029	60,000	60,000
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	43,173	24,894	52,661	87,888	323,047	335,035
職員等の従事人員		人/年	—	1.60	1.30	1.30			
人件費		千円	—	9,807	9,112	9,657			
事業費総額		千円	—	321,231	355,237	358,533			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

光熱水費	4,945千円
修繕費	1,566千円
マンホールポンプ等管理委託料	5,743千円
検針調定業務委託料	3,615千円
桂川中流流域下水道維持管理負担金	330,326千円

## 5. 事業結果の概要

快適な生活環境と安全・安心な維持管理の実現。  
 マンホールポンプ42箇所の維持管理  
 処理人口16,878（人）水洗化人口13,420（人）

## 6. 活動の詳細

PR活動		
下水道施行50周年記念として、下水道に対する理解を深めるため、南丹市内各小・中学校に下水道ポスターの掲載。	7月～9月	
南丹浄化センター施設公開。一般市民の方々に下水道処理施設を見学していただきどのようにして家庭から排水された汚水が処理され浄化していくのかを知っていただくため「10下水道 下水道 水から聞こえるありがとう」と題し一般公開を行った。(京都府主催)開催案内については、京都新聞に掲載、南丹市のホームページ・お知らせ南丹に掲載、開催チラシの配布を行った。	9月4日	南丹市内外から、施設見学をしていただいた。 主催：京都府 協力：南丹市 後援：京と地球の共生府民会議

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

平成21年度からマンホールポンプ場の維持管理について、長期継続契約により業務委託を実施しコスト低減を図ると共に、異常時における対応も敏速に実施し住民サービスの向上に努めてきた。今後も、長期継続契約を実施していくことにより、適切な維持管理、施設の延命、コスト縮減に努める。  
合併特例による桂川中流域下水道施設の南丹市への移管という大変大きな課題があるが、制度改正をあらゆる機会を通じて国に要望と共に、個別課題について京都府と協議を重ねていく。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

平成21年度から処理場及びマンホールポンプの維持管理について、包括的民間委託による複数年契約により機能維持・施設延命などコスト低減を図ると共に、故障時の即座の対応も含め住民サービスの向上に努めてきた。今後も、計画的・予防的維持管理を継続実施していくと共に、特に更新に多額の費用を要するマンホールポンプ施設については、適切かつ有効な保守点検業務を実施することにより、施設延命につなげコスト縮減に努める。また、流域下水道施設の市への移管という大きな課題があるが、あらゆる機会を通じて国に対して制度改正を要望するとともに、個別課題について府と協議を重ねていく必要がある。

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
維持管理経費の軽減について協議し、平成21年度からマンホールポンプ等維持管理契約について複数年契約とした。
- ②当該事業のアピール事項  
施設の機能を発揮するためには、日常の適正な維持管理が必要であり、専門知識と機動力をもった維持管理業者に施設管理を委託し公共水域の保全に努めている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
住民の使用料負担に応える能率的な下水道経営を図るため、事業の効率化・所要経費等の削減に努める。